

令和3年度
教科名等

国語 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
国語総合	国語総合	1	A B C D E F	5	必履修	175 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	大前 真由佳・日向 昌平・中野 麻衣子
授業形態	講義・演習
教科書	国語総合 改訂版 現代文編／国語総合 改訂版 古典編，大修館書店
使用教材等	「トータルサポート 新国語便覧」(大修館書店)・「現代文 解法のテクニック 三訂版」(啓隆社)・「意味から学ぶ 頻出漢字3000 漢字+語彙」(第一学習社)・「力をつける古文 ステップ1」(数研出版)・「新版五訂 完全マスター古典文法」(第一学習社)・「読んで見て覚える 重要古文単語315 三訂版」(桐原書店)・「読解シリーズ 力をつける漢文 ステップ1」(数研出版)・「漢文学習必携 三訂版」(京都書房)

科目の目標・内容等

学習目標	国語の基礎的知識の習得および論理的思考力の養成。
学習における 留意点	予習・復習・宿題を確実にし、授業を通して学習内容の定着を図る。
予習・復習	予習として辞書(国語辞典、古語辞典、漢和辞典等)を用いて不明の語句の意味や用法を調べノートに記す。復習として教科書とノートを読み返し、語彙や知識を定着させる。
評価方法	定期考査・平常点(小テスト・提出物・学習態度)・課題テスト・補習 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	【現代文】詩『自由な主体に必要な「尋ねあい」』小説『コート』評論『水の東西』表現『自分の考えを話す』ビブリオバトル 【古文】『古文入門』『徒然草』『竹取物語』 【漢文】『漢文入門』	【現代文】評論:評論の基本的な読み方を習得する。小説等:主体的な鑑賞の仕方を学び、人間に対する洞察力・感受性を養う。 【古文】歴史的仮名遣いや品詞の種類・用言の活用等古文の基本的事項を習得し、説話・随筆・物語の面白さを理解する。 【漢文】漢文訓読、書き下し文など基本的事項を理解する。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	【現代文】評論『ヘンデルとカサ』『他者を理解すること』『自然と人間の関係を通して考える』小説『羅生門』『本のPOPを作る』『資料をもとに文章を書く』 【古文】『伊勢物語』『和歌』『奥の細道』 【漢文】『十八史略』『唐詩』	【現代文】評論:文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に把握する。小説等:名作に触れ文学の面白さを味わうとともに読解力を深める。 【古文】伊勢物語:頻出助動詞を確実に習得し、物語の全体像を理解する。和歌:和歌の特徴を理解しそれぞれの歌を鑑賞する。奥の細道:俳諧紀行文の特徴を理解する。 【漢文】繰り返し音読することにより漢文・漢詩に親しむと共に内容を正確に理解し鑑賞する。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	【現代文】評論『メディアとしての顔』『意味と身体』短歌・俳句「調べたことを報告する」「手紙を書く」 【古文】『平家物語』『土佐日記』 【漢文】『思想』『文』	【現代文】評論:文章の構成、展開を理解し、筆者の主張を正確に捉える。筆者の主張をふまえて自分の考えを論理的に述べる。 【古文】平家:無常観についての理解を深めるとともに自分で口語訳する力を養う。土佐:日記文学の特徴を理解し鑑賞する。 【漢文】内容を正確に読み取るとともに、儒家の思想を理解する。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
教科名等

国語 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
現代文B	現代文B	2	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	野邊咲子
授業形態	講義
教科書	『精選 現代文B 新訂版』(大修館書店)
使用教材等	『現代文 解法のテクニック2 標準編』(啓隆社) 『意味から学ぶ頻出漢字3000漢字・語彙』(第一学習社) 『読解 評論文キーワード』(筑摩書房) 『評論速読トレーニング 1500』(数研出版) 『重要問題演習 現代文』(Learns) 『新国語便覧』(大修館書店)

科目の目標・内容等

学習目標	論理的文章、文学的文章を的確に読み取る力を身につけ、ものの見方や感じ方、考え方を深める。漢字の読み書きの力や語彙力を高め、大学受験に相応した学力を習得する。
学習における留意点	主体的に学ぶ姿勢を持ち、授業に積極的に参加するようにする。漢字、語彙の基本的知識については反復して学習し、着実に身に付けるようにする。
予習・復習	【予習】授業前に本文を一読し、語句等を調べておく。小テストの事前学習。 【復習】授業ノートを確認し、授業で学習した事柄に対して自分なりにより深く考え理解を深める。
評価方法	定期考査、長期休業後の課題テスト、平常点(小テスト・プリント・ノート提出等)を基本とする。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	評論「豊かさとながら」 小説「山月記」 評論「猫は後悔するか」 詩「永訣の朝」他	【小説】随筆や短編小説の持つ緊密な構成を理解し、筆者や登場人物の人物像や心情の推移を的確に読みつつ随筆・小説鑑賞の方法を学ぶ。 【評論】論の展開や要旨を的確に捉えることで筆者の主張を正確に把握するとともに、評論の読解方法を学ぶ。 【詩】詩を味わい感性を豊かにするとともに、表現技法について学び鑑賞力を高める。	(1) 言語能力(語彙力、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	評論「食べ物を「はかる」」 小説「ころ」 評論「生命情報・社会情報・機械情報」	【評論】論の展開や要旨を的確に捉えることで筆者の主張を正確に把握するとともに、評論の読解方法を学ぶ。 【小説】小説の登場人物の微妙な心情の推移を読みつつ背景の歴史や描かれ方を考える。	(1) 言語能力(語彙力、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	小説「巨人の接待」 評論「家族化するペット」 現代短歌	【評論】論の展開や要旨を的確に捉えることで筆者の主張を正確に把握するとともに、評論の読解方法を学ぶ。 【小説】小説の登場人物の微妙な心情の推移を読みつつ主題を考える。 【短歌】韻文の韻律の法則を知り、韻文ならではの表現に親しむ。	(1) 言語能力(語彙力、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
教科名等

国語 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
古典B	古典B	2	A B C D E F	3	必履修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	日向昌平 大前真由佳
授業形態	必修 講義
教科書	古典B 改訂版 古文編 / 古典B 改訂版 漢文編 大修館書店
使用教材等	基礎からの総合トレーニング 古典2演習JUMP編, Learn-S 漢文学習必携 三訂版, 京都書房 新版五訂 完全マスター古典文法, 第一学習社 読んで見て覚える古文単語315三訂版, 桐原書店

科目の目標・内容等

学習目標	古典を読む能力を養うとともに、思考力を伸ばし、感性や情緒を育み、古典を通して人生を豊かにする態度を育成すること。
学習における 留意点	予習されていることを前提に授業を進める。板書・解説は自分なりの工夫でノートに書き留める。
予習・復習	本文を写し、語句を調べ、文法事項を確認して現代語訳をする。小テストの事前学習。
評価方法	定期考査、長期休業後の課題テスト、平常点(小テスト・提出物等)を基本とする。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	【古文】 大江山いくのの道(十訓抄) 中納言参りたまひて(枕草子) 和歌・歌謡・俳諧 【漢文】 漱石枕流(世説新語) 塞翁馬(淮南子)	【古文】 用言の活用を確認しつつ、助動詞の意味・活用の定着をはかる。 古語辞典を用いてある程度自分で現代語訳をする。 【漢文】 漢文訓読、書き下し文などの基本的事項を確認する。 基本的な句法を身に付ける。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	【古文】 行く河の流れ(方丈記) 雨林院の菩提講(大鏡) 花山院の出家(大鏡) 競べ弓(大鏡) 【漢文】 鴻門の会(史記) 四面楚歌(史記)	【古文】 助動詞の意味・活用を確認する。 敬語表現の基本を身に付ける。 古語辞典を用い、自分で現代語訳をできるようにする。 【漢文】 基本的な句法を身に付け、漢文の長文を読解する。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	【古文】 桐壺(源氏物語) 若紫(源氏物語) 【漢文】 漢詩 思想	【古文】 敬語表現の定着をはかる。 助詞の用法を身に付け、自分で全て現代語訳をできるようにする。 【漢文】 句法を全て身に付け、漢文の読解力を上げる。 日本にも浸透している漢詩や諸子百家の思想を学ぶ。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度 国語 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
α 古典B	古典B	2	A B C D E F	1	必修選択	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	北林 峻 、 中野 麻衣子
授業形態	講義
教科書	古典B 改訂版 古文編, 大修館書店
使用教材等	基礎からの総合トレーニング 古典1演習JUMP編, Learn-S 新版五訂 完全マスター古典文法, 第一学習社 読んで見て覚える古文単語315三訂版, 桐原書店

科目の目標・内容等

学習目標	古典を読むうえで必要な力を養うとともに, 思考力を伸ばし, 古典を通して人生を豊かにする態度を育成すること。
学習における留意点	予習されていることを前提に授業を進める。板書・解説は自分なりの工夫でノートに書き留める。
予習・復習	テキストの音読、語句調べ、文法事項を確認して設問に解答する。
評価方法	学期末に行う定期考査を基本とする。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	用言の総復習 動詞の活用、形容詞・形容動詞の活用	動詞の活用を総復習し、係り結びや助動詞の接続など、既習の内容にも適宜触れながら、定着を図る。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	助動詞総復習	助動詞を体系的に覚える。 接続、意味、活用形などを正確に覚え、助動詞の意味に忠実に訳せるようにする。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	敬語 助詞 紛らわしい語の識別	敬語の種類を確実に覚え、敬意の方向も理解したうえで正確に訳せるようにする。 格助詞や接続助詞、係助詞等を中心に学習する。 「なむ」「なり」「る」「に」などの識別ができるようにする。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
教科名等

国語 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
現代文B	現代文B	3	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	北林 峻 、 野邊 咲子
授業形態	講義、演習、発表
教科書	精選現代文B 新訂版 , 大修館書店
使用教材等	現代文解法のテクニック3応用編, 啓隆社 共通テスト対策実力養成2022重要問題演習 現代文, Learn-S 評論速読トレーニング2000, 数研出版 読解 評論文キーワード, 筑摩書房 完成日本文学史ノート三訂版, 京都書房 意味から学ぶ頻出漢字3000, 第一学習社 トータルサポート新国語便覧, 大修館書店

科目の目標・内容等

学習目標	高度な語彙力と読解力を育み、受験に対応できる学力を着実に付けていく。
学習における留意点	主体的に学ぶ姿勢をもち、授業に積極的に参加するようにする。漢字、語彙の基本的知識については反復して学習し、着実に身に付けるようにする。
予習・復習	【予習】授業前に本文を一読しておく。語句調べ。小テストの事前学習。 【復習】授業ノートの確認、授業で学習したことに対する自分なりの考えをもつ。
評価方法	定期考査、平常点(学習態度)等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	小説(一)「赤い繭」 小説(二)「檸檬」 評論(五)「地球システムの中の人間」 評論(三)「『である』ことと『する』こと」	小説では、作品の構成を明らかにしながら、作品の展開のしかたを把握する。叙述や比喩表現に注意を払い、登場人物の状況や心理を的確に把握する。 評論では、具体例と筆者の見解・主張との関連に注意して論旨を的確に読み取り、日本社会文化について深く考察する。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	随想「浄瑠璃寺の春」 評論(四)「猫は後悔するか」	随想では、筆者の感性・考えを味わう。筆者の行動や経験、心の動きを通してその生き方を考え、筆者の思いをとらえる。 評論では、人間や社会の本質を深く掘り下げて考える態度を養い、論理性を高める。具体例と筆者の見解・主張との関連に注意して論旨を的確に読み取る。対比的思考に慣れるとともに、現象の奥にひそむ本質を見極めていく視点を養う。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	評論(六)「無常ということ」	論理を的確にたどり、深い思索が幅広い知識に支えられていることを理解する。視野を広げて様々な問題について深く考え、自分自身の考えをもととする態度を身に付ける。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。